

# クビボソコガシラミズムシ コウチュウ目コガシラミズムシ科

*Haliplus (Haliplus) japonicus* Sharp

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

県内では数箇所を確認されているのみであり、生息環境の悪化が懸念される。

## 形態

体長2.7~3.3mm。体型は卵形。楕円形。体色は淡黄褐色。前胸背板の基部両側の縦条は中央付近まで伸びる。前胸腹板突起先端は中央で角張る。上翅の基部は側方へあまり広がらない。頭頂の点刻は密。

## 国内分布

北海道、本州、四国、九州。

## 県内分布

川北町、能美市、白山市（旧美川町）、金沢市、輪島市、珠洲市。

## 生態

新成虫は秋に発生し、成虫で越冬する。手取川下流部の細流では、春期から秋期に成虫が見られ、秋期には多数の個体が確認されている。

## 生息地の条件

水草や藻類の多く繁茂する水辺に生息する。川北町、能美市、白山市では、手取川河川敷の細流の藻類の多い岸辺で、金沢市では廃田で、珠洲市ではため池で確認された。

## 生存の危機

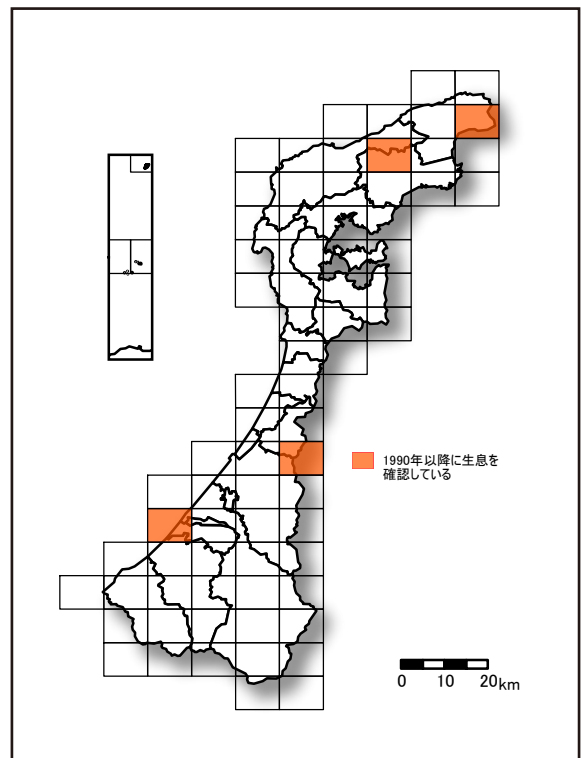
池沼の埋め立て、水質汚染、放棄水田の植生遷移、手取川河川敷の大規模な土木工事が大きな脅威となっている。(A, B)

## 参考文献

佐藤正孝 1984. 日本産水棲甲虫類の分類学的覚え書 I. 甲虫ニュース, (65) : 1-4.  
中根猛彦 1985. 日本産ヒメコガシラミズムシ属の種の再検討. 北九州の昆虫, 32(2) : 61-67.  
中根猛彦 1987. 日本の甲虫 (80), こがしらみずむし科. 昆虫と自然, 22 (11) : 26-30.



標本提供者: 富沢章



県内の分布